

小倉祇園祭新型コロナウイルス感染拡大防止ガイドライン(令和4年6月版)

このガイドラインは、厚生労働省、福岡県、公益社団法人日本青年会議所等が示す新型コロナウイルス感染拡大防止に向けての各種方針に倣い、令和4年度の小倉祇園祭開催に関連して、祭りにかかわる方々が守るべき対策の指針を示すものです。

開催方針

令和4年度は、新型コロナウイルスの影響で様々な制約がある中、国指定無形民俗文化財である『小倉祇園祭の小倉祇園太鼓』を次世代に伝承することを最大の目的に、行事を執り行います。また、祭り期間以外の活動については、以下のとおりとします。

① 通常時

活動の際には、本ガイドラインを遵守してすること(活動可能)。

② まん延防止等重点措置が発令されている場合

主に飲食事業者への措置であることから、活動は会員各位の判断に任せる。

活動の際には、本ガイドラインを遵守すること(活動可能)。

③ 緊急事態宣言が発令されている場合

太鼓派遣及び練習は自粛する。

※但し、主催者側で実施が決定しているものについては個別に判断する。

各行事参加者が遵守すべき共通事項

- 以下の項目に該当する場合は、参加を見合わせる。
 - 体調がよくない場合
例：37.5℃以上の発熱又は平熱より1℃以上の体温上昇がある場合
咳、咽頭痛、倦怠感、味覚・嗅覚異常などの症状がある場合
 - 同居家族や身近な知人に感染者、濃厚接触者や感染が疑われる人がいる場合
 - 政府から入国制限や入国後の観察期間を必要とされている国・地域への渡航又はこれらの国・地域の在住者との濃厚接触がある場合
- 参加する際は事前に自宅等で検温する。
- 行事中はマスク着用を原則とする(2歳未満の幼児を除く)。ただし、2m以上の距離が確保できる場合や熱中症が危惧される場合はその限りではない。
- アルコール等によるこまめな手指消毒を実施する。
- 他の参加者や関係スタッフとの距離(できるだけ2mを目安に最低1m)を確保する。
- 当日の参加者の氏名、年齢、住所、連絡先を整理し、3週間以上保管する。
- 新型コロナウイルス接触確認アプリ(COCOA)に登録する(推奨)。
- お囃子や掛け声等の発声をする場合は、マスクを着用した上で、過度に大声にならぬよう注意する。

練習及び派遣時の対応

- 参加者は共通事項を遵守する。
- バチやチャングラを参加者で共用する場合は、使用の前後でアルコール等による手指消毒を行う。手指消毒ができない場合は、使い捨て手袋を使用する。

山車運行時の対応

- 1 参加者は共通事項を遵守する。
- 2 バチやチャンガラを参加者で共用する場合は、使用の前後でアルコール等による手指消毒を行う。手指消毒ができない場合は、使い捨て手袋を使用する。
- 3 綱を引く人は、運行前後でアルコールでの手指消毒を行うか、アルコール等での手指消毒ができない場合は、使い捨て手袋を使用する。
- 4 引綱内では他の参加者との距離（最低 1m）を確保する。
- 5 休憩時、マスクを外しての長時間の歓談は控える。

据え太鼓披露会場での対応

- 1 参加者は共通事項を遵守する。
- 2 バチやチャンガラを参加者で共用する場合は、使用の前後でアルコール等による手指消毒を行う。手指消毒ができない場合は、使い捨て手袋を使用する。
- 3 披露場所周辺でマスクを外しての長時間の歓談や飲食は控える。

飲食について

- 1 練習期間を含めた祭り期間中、直会等の飲酒を伴う飲食の際は、感染拡大防止に十分配慮した上で行うこととする。
- 2 山車運行中（休憩時も含む）や据え太鼓披露会場での飲酒は禁止とする（休憩中の水分補給や栄養補給は可）。

感染リスクが高まる「5つの場面」

場面① 飲酒を伴う懇親会等

- 飲酒の影響で気分が高揚すると同時に注意力が低下する。また、聴覚が鈍麻し、大きな声になりやすい。
- 特に敷居などで区切られている狭い空間に、長時間、大人数が滞在すると、感染リスクが高まる。
- また、回し飲みや箸などの共用が感染のリスクを高める。



場面② 大人数や長時間におよぶ飲食

- 長時間におよぶ飲食、接待を伴う飲食、深夜のはしご酒では、短時間の食事に比べて、感染リスクが高まる。
- 大人数、例えば5人以上の飲食では、大声になり飛沫が飛びやすくなるため、感染リスクが高まる。



場面③ マスクなしでの会話

- マスクなしに近距離で会話をすることで、飛沫感染やマイクロ飛沫感染での感染リスクが高まる。
- マスクなしでの感染例としては、屋カラオケなどでの事例が確認されている。
- 車やバスで移動する際の車中でも注意が必要。



場面④ 狭い空間での共同生活

- 狭い空間での共同生活は、長時間にわたり閉鎖空間が共有されるため、感染リスクが高まる。
- 寮の部屋やトイレなどの共用部分での感染が疑われる事例が報告されている。



場面⑤ 居場所の切り替わり

- 仕事での休憩時間に入った時など、居場所が切り替わると、気の緩みや環境の変化により、感染リスクが高まることもある。
- 休憩室、喫煙所、更衣室での感染が疑われる事例が確認されている。

